

## 令和2年度 学校自己評価書 —保護者や地域の皆様へ—

小美玉市では、市内各幼稚園、小・中学校で、教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行っております。各学校がその結果を公表しておりますが、ここでは「保護者や地域の皆様へ」という部分のみをまとめてお示しします。

今後も、市民の皆様へ情報をお伝えしてまいりますので、学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



### 【野田小学校】

学校教育目標「学ぶ力を身に付け、たくましく、心豊かな児童の育成」の実現に向けて、「豊かな心の育成」「学力・体力向上」「学校・家庭・地域との連携」の3つ柱を立て教育活動を推進してまいりました。今年度は、コロナ禍の中、学校が2ヶ月近く臨時休校となり、例年通りの教育活動ができない部分も多く、児童にとっても保護者の皆様にとっても何かと我慢をいただいた1年でした。

一つ目の「豊かな心の育成」については、特別活動、学校行事等、体験活動を重視してまいりました。学校行事や体験活動は、コロナの影響で縮小、中止したものもありましたが、人権教育や道徳教育などを通じ、豊かな心の醸成に努め、いじめの解消100%を目標に取り組んで参りました。今後も、お互いの良さを認め合い、お互いを高めていける機会を大切にし、豊かな心を育ててまいります。

二つ目の「学力・体力向上」については、「家庭学習強化週間」や「補習タイム」を設定し、家庭学習の習慣づくりや学習内容の基礎・基本の定着に力を入れ、学力向上を目指しました。また、国語科を中心に校内研修の充実を図り、授業の改善と充実を図ってまいりました。日々の生活習慣の基礎となる、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣も、アンケートから1学期に比べて身につくという結果が出ています。

三つ目の「魅力ある開かれた学校づくり」については、ホームページの学校ニュースの更新や学校便りを通して、積極的に情報発信するとともに、アンケートや皆様からの直接のご意見を生かした学校運営に努めてまいりました。学習支援ボランティアについては、コロナ禍の中、2学期から読み聞かせのみ「こんぺいとう」様をお願いして実施いたしました。1日も早いコロナの終息を願い、終息後は、保護者や地域住民の方々のご協力を得ながら、児童にとっての豊かな教育を推進してまいりたいと考えております。

令和3年度は、野田小学校最後の1年となります。閉校、そして、小川北義務教育学校の開校に向けて職員一同努力してまいりますので、今後ともご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

### 【上吉影小学校】

子供たちの「生きる力」を育むために「自ら考え、判断し、表現できる児童の育成」を掲げ、学校・児童・保護者・地域が「つなぐ、つながる、つなげる」ことを重点に置きながら、継続して知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を目指して教育活動を進めてまいりました。感染症対策を十分に取しながら、児童の考えを表現する場を設定することに関しては課題が残りましたが、学校田、畑での農業体験、書道・2年生の町探検など今年度も地域の多くの方に学校を支援いただき、充実した教育活動を行うことができました。また、活動の様子は授業公開、各種便り（学校便り、学年便り、保健便り等）の発行、Webページの公開、学校便りの地区回覧により情報発信をしてまいりました。

また、今年度の米の販売体験とスケッチバス作成の取組みは、市広報誌や新聞にも取り上げられました。その際取材に対して堂々と受け答えをする児童たちの姿に成長を感じました。

学校評価保護者アンケートでは、91%の保護者から「学校は、児童・保護者の質問や相談に迅速に対応している」との回答をいただきました。今後もタイムリーな情報を発信し、開かれた学校、信頼される学校づくりに努めてまいります。

マナーアップ運動による朝のあいさつ運動には、多くの保護者の方々にご協力いただきまして感謝申し上げます。校内では元気なあいさつができる児童が多くおりますが、「進んであいさつができる児童」88%（保護者アンケート）と昨年度に比べ10%ほどの向上はありましたが、いつでもどこでも元気な気持ちのよいあいさつができる児童の育成に継続して取り組んでいきたいと考えております。保護者、地域の皆様のご協力をお願いいたします。また、保護者の皆様には「生活チェックカード」にご協力いただきましてありがとうございます。また、「インターネット等の安全な使用」などについて話し合っていました。今後も学校、保護者の皆様との共通理解を図るとともに、地域の皆様にもご理解とご協力を得ながら、子供たちの指導に役立てていきたいと考えております。

環境整備、学校田、畑の整備、通学路の安全点検など、保護者や地域の皆様には今年度も学校を支援いただきまし

た。大きな事故もなく安全に児童が生活できましたこと感謝申し上げます。今後も充実した体験活動や教育環境整備に努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

#### 【下吉影小学校】

本校では、小規模校のよさを生かし、一人一人を大切にする全員参加の教育活動を展開し、今年度は、「笑顔あふれる学校づくり～一人一人の児童にいてねいに関わる～」をキーワードに教育活動を実践してまいりました。授業においては、自分の考えや思いを素直に表現できる話し合い活動の充実を目指して授業改善に取り組みました。その結果、自分の考えを積極的に発表したり、友達の考えとの比較検討を通して学習の理解を深めたりすることができるようになってきました。

異年齢集団活動では、様々な場面で上級生が下級生の見本となって面倒をよくみており、学年の枠を超えて助け合う温かな人間関係が築かれていました。

コロナ禍における行事の開催に際しては、規模縮小、実施時間短縮、参観者の制限など例年とは違った形での開催でしたが、児童からは「できてよかった。」「楽しかった。」、保護者からは、「行事開催に対して感謝している。」等の声が寄せられ、職員一同胸をなで下ろしたところです。特に、本校の大きな特色である全校ミュージカル・下吉祭りでは、児童の生き生きと活動する姿を披露することができました。児童の感情豊かな演技や自分たちで考えた振り付けのダンスは大きな感動を残しました。また、稲作サポーターの皆様のご協力による米作り体験では、収穫できたお米をおかきやお餅に加工して味わい、作り育てる喜びを実感することができました。

令和4年度の義務教育学校開校を見据えて、これからも下吉影小学校だからこそできる教育を大切に、学校教育目標「郷土に誇りをもち、確かな学力を身に付け、心豊かで、心身ともにたくましい児童を育成する」の達成に努めてまいります。また、下吉影小学校を「自分たちの学校」としてしっかりと胸に焼きつけられるよう教育活動を進めてまいります。地域や保護者の皆様、今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

#### 【小川南小学校】

本校教育活動へのご理解、ご協力いただき、感謝しております。

今年度は、特にコロナ禍のなか、保護者や地域の皆様には、ご心配やご迷惑をおかけしたことも多々あったと思いますが、いつも温かい励ましのお言葉をかけていただき、また、本校の教育活動に積極的にご協力いただき、職員一同感謝しております。

今年度は、「子供が主役、子供が考える」ことを大切にして教育活動を推進してまいりました。統合2年目となり、小川南小学校として、学校生活も軌道にのり、落ち着いた授業ができています。児童も「南っ子の新しい生活様式」をもとに感染予防対策をとりながら、学校行事や日々の授業で成長しております。来年度は、今年度の成果と課題を踏まえ、一人一人の児童が自ら考え行動できる力を育み、学力や体力の向上、豊かな心の育成に、教職員一丸となって取り組んでいく所存です。

保護者や地域の皆様と、一緒に子供たちを育てていけるよう、更なるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

本校の教育活動や児童の様子、各種たよりについては、ホームページでも紹介、掲載しております。多くの保護者の皆様や地域の皆様に見ていただければ幸いです。

#### 【竹原小学校】

学校経営の基本方針として「楽しく元気な学校づくり」をあげ、合い言葉として『対話力向上』を掲げました。そこで、学校全体として「児童の対話力を向上させる」を組織目標とし取り組んできました。学習場面では、算数科の授業研究を中心に、対話的な学びの充実を図り、児童に分かる喜びを体験させるために、学習の展開や形態を工夫しました。コロナ禍の中でしたが、意図的に話し合い活動の場面を多く取り入れ、授業時間内の児童自らが主体的に活動する学習場面の設定を数多く試みました。また、感染症対策で制限の厳しい中、朝のあいさつ運動や昼の清掃、運動会や遠足、米づくりにおける異学年集団による活動などの行事を今年度も継続して取り組みました。その結果、できることと我慢すべきことを適切に判断し行動する意識が高まってきました。今後もコロナ禍の厳しい状況が継続すると考えられますが、保護者や地域の協力を得ながら、学校の教育活動を充実させ、児童一人一人の成長を促す活動に積極的に取り組んでいきます。

児童の学校生活アンケートでは、「学校に来ることが楽しい」と答える児童が約85%と昨年度より少し下がっています。また、「夜は早く寝るようにしている」「朝は自分で起きられる」「宿題以外の学習にも取り組んでいる」「本を読むことは好きですか」が昨年より引き続き70%台で低めの傾向が見られました。これらについては、コロナウイルス感染予防のための休校や制限の多い学校生活の影響が考えられますが、児童一人一人に目を配り、ご家庭の協力も得ながら個別に細やかな対応をしていきます。

今年度行われた県の学力定着度診断調査の結果からは、本校の平均正答率は、4つの学年のうち3つの学年で県の平均正答率を上回りました。学年により差はありますが、正答率の低い設問を復習し、補充学習を行います。

#### 【羽鳥小学校】

本校では、学校教育目標「進んで学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」の実現に向けて、「一人一人のよさを認め励ましほめて伸ばし夢を育む教育～ほほえみが溢れる学校づくり～」を教育スローガンに掲げ、教育活動に取り組んできました。一人一人の夢を育むために、「ドリームバード」（夢と3つの目標達成）計画を毎年実施しています。この取り組みの継続により、夢や目標に向かって努力していることが形となって見えるようになったため、自己有用感を感じている児童が増えています。それが知・徳・体の伸張を促す原動力に繋がっていくと考えます。また今年度は、感染症対応にも努め、児童が安心して学校生活を送れるように努めました。学校評価アンケート「学校が楽しい」の項目では、約9割の支持を得たのも、その成果の表れだと考えます。

一番の課題であった学力向上については、昨年度の県事業「授業力ブラッシュアップ研修重点校（算数科）」発表の成果や経験を生かして、研修に取り組みました。本年度は対象の教科を国語とし、「読みを深め、自分の考えを形成する児童の育成～語彙指導の充実及び学習過程の明確化を通して～」を研究テーマに、授業改善に努めました。その結果、児童一人一人の学習意欲が向上し、単元テストの正答率はどの学年においても8割以上でした。

保護者および地域の皆様、今年度も本校教育への全面的なご理解・ご協力をいただきありがとうございました。特に、運動会の代わりに実施した「はとりっ子スポーツ大会」においては、感染症対策への取り組みについて十分にご協力を頂いたおかげで、児童も精一杯活動をすることができ、よい思い出となりました。その他にも各行事実施へのご理解とご支援に心から感謝申し上げます。

次年度も、現状に満足することなく、職員一同、飽くなきチャレンジ精神で、羽鳥小学校の発展に力を尽くしていきたいと決意を新たにしております。何とぞ更なるご支援をよろしく願いいたします。

#### 【堅倉小学校】

学校教育目標「確かな学力と豊かな心を育み、たくましく生きる児童を育てる」の実現に向けて、「授業改善を通して、質の高い学びを実現し、学力の向上を図る」「豊かな人間関係づくりと心の教育の充実」「学校・家庭・地域との連携・協力を密にし、信頼と活力に満ちた開かれた学校づくりを推進する。」の3つの柱を立て教育活動を推進してまいりました。

一つ目の「授業改善を通じた、質の高い学びの実現と学力向上」については、算数科を中心に授業の改善と充実を図ってまいりました。さらに校内研修を充実させ学力向上に努めてまいります。

二つ目の「豊かな人間関係作りと心の教育の充実」については、道徳の時間や特別活動、学校行事や読書活動を重視してまいりました。今後も、互いの良さを認め合いながら、お互いを高めていける機会を大切に、豊かな心をはぐくんでまいります。

三つ目の「信頼と活力に満ちた開かれた学校づくり」については、毎日更新しているホームページや学校便り、学年便り、メール配信等を通して、積極的に情報発信をするとともに、アンケートや皆様からの直接のご意見を生かし、学校運営に努めてまいりました。

令和3年度も、保護者の皆様、地域の皆様の声を大切にしながら職員一同努力してまいりますので、今後とも御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

#### 【納場小学校】

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご尽力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで児童は安全安心で楽しく、充実した学校生活を送ることができました。

◎ 総合的な学習の時間の一環として実施している米作りでは、米作りボランティアやPTAの方のご尽力により、児童は稲刈り、脱穀などの貴重な体験をさせていただき、米づくりの大変さなどを学ぶことができました。田植えと「納場っ子夢未来フェスタ」はコロナの影響で本年度は中止としました。収穫した米は、一部を「おかき」に加工して美味しくいただきました。また、残った米に関しては、販売して売り上げ金で、逆上がり補助器を購入しました。

◎ 登下校のボランティアの皆様には、年間を通し児童の交通安全のためにご尽力いただきありがとうございました。おかげさまで大きな事故やけがもなく安全に登下校することができました。

◎ 金管バンド部については、本年度は運動会のみ演奏になってしまいました。昨年まで参加していた地域や学校行事がコロナのためになくなり、参加できなかったのは残念ですが、練習方法を工夫し、最後に保護者の皆様に発表できたことは大きな励みとなりました。

◎ 「納場地区教育振興後援会」の皆様には、学校の教育振興のためにご尽力いただきありがとうございました。おかげさまで授業を始めとして運動会などの学校行事や環境整備、金管バンド部の楽器購入などに活用させていただいています。

令和3年度も保護者の皆様や地域の皆様の忌憚ないご意見をもとに、よりよい教育活動ができますように、職員一同努力してまいります。今後とも、本校の教育力の向上、発展に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

#### 【玉里小学校】

保護者や地域の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年度末から本年度始めには、新型コロナウイルス感染予防のための約2ヶ月にわたる臨時休業がありました。この休業期間中、ほとんどの児童は指示をよく守って過ごしていました。毎日の地区巡視や週に一度の家庭訪問の度に、玉里小の児童は、「目的が理解できればきまりを守れる子供たち」であることを実感しました。また、子供の健全な成長にとって、学校という場がいかに重要であるかを再認識しました。分散登校の時の子供たちの笑顔は忘れることができません。

そして、臨時休業中に気付いたことがあります。それは、学校が子供を社会的な存在に成長させるだけでなく、社会全体の歯車をきしみなく回転させるための極めて重要な機関であるということです。学校には、①子供の安心・安全を守ること、②子供自身が自分の価値に気付くこと、③子供自身が主体的に自分の力を伸ばすこと、④社会の一員として自分の力を社会に役立てようという気持ちを伸ばすことが求められていると実感しました。わたしたち教職員はこれからも、一人一人が自分の可能性に挑戦する『玉里の子ども』の育成に尽力する所存です。

いよいよ、玉里小学校は、3月末をもって145年の歴史に幕を閉じます。これまで、たくさんの地域の皆様のご支援とご協力のおかげで、児童は楽しく充実した学校生活を送ることができました。本来ならば、この1年は、保護者やお世話になった地域の方々と直接ふれあいをもちつつ思い出を振り返る1年となるはずだったのと思うと残念でなりません。

4月から、玉里学園義務教育学校がスタートいたします。児童とともに、新たな希望をもって力強く前進していきたいと思えます。今後ともご支援とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

#### 【玉里北小学校】

保護者の皆様や地域の皆様に学校教育へのご理解、ご協力をいただき、子供たちが元気に楽しく学校生活を送ることができました。心より感謝申し上げます。特に今年度は新型コロナ感染症対策へのご理解、ご協力もありがとうございました。本校は、本年度で閉校となりますが、玉里学園義務教育学校に統合しましても児童が安心して学校生活を送れるよう全職員で努めてまいりますので、ご協力、ご支援をよろしく願います。

子供たちには個性があり、一人一人が伸びる力をもっています。様々な課題に対して目標をもって根気強く取り組み、達成感を味わわせることで、意欲が向上し、個の成長が図れると考えています。今年度は「子供の出番を増やす」という学校組織目標の下、「北小への感謝」「玉里学園への期待」の気持ちを大切に、教育活動を行ってきました。学校では、良いところを認め励ましながら、目標達成のために指導、支援をしていきます。また、友達と良好なコミュニケーションを図ることや子供自ら善悪の判断をしてよいことを実行することができるよう、支援をしていきます。ご家庭や地域でも子供たちのがんばっている姿、成長した姿が見られたときには褒めていただき、子供たちの意欲や自信を高めていただければと思います。

学校行事などを中心に学校の様子を、ホームページの学校のニュースや学校だよりで発信しています。多くの保護者の皆様や地域の皆様に見ていただければ幸いです。また、広く学校公開をしておりますので、直接、子供たちの様子を見ていただき、ご意見や励ましの言葉をかけていただければと思います。

(玉里北小学校 <http://www.city.omitama.ibaraki.jp/tamarikita-e/>)

玉里学園義務教育学校の登下校など、安全に関わるご意見をいただきました。今後も保護者の皆様や地域の皆様のご協力をいただきながら、解決に向けて進めてまいりたいと思えます。

#### 【玉里東小学校】

令和3年度の玉里学園義務教育学校の開校に伴い、玉里東小学校は令和2年度をもって144年の歴史に幕を下ろすことになりました。長年にわたり、保護者・地域の皆様方には多大なるご支援・ご協力を賜りました。心より御礼申し上げます。本校は「地域とともにある学校」を目指して、学校と地域の組織的・継続的な連携・協働体制の確立に努めてまいりました。地域の歴史・自然・産業などに関する物的・人的な教育資源に目を向けて、積極的に学習教材として取り入れたり、ゲストティーチャーとしてご協力いただいたりしました。特に、稲作プロジェクトやアサザプロジェクト、東のまつりでは、たくさんの保護者・地域の方々、関係諸団体の皆様のご支援をいただきま

した。おかげさまで、子供たちは、この地域でしか味わえない貴重な体験を通して、地域の素晴らしさを感じ取り、自然を大切に作る気持ちを育みながら、校庭の楠のように素直に伸び伸びと成長することができました。

最後になりましたが、これまで本校の教育活動にご支援をいただきましたすべての方々に、重ねて御礼申し上げます。来年度から子供たちが学ぶ玉里学園義務教育学校へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 【小川南中学校】

県内でもこれだけ広い敷地、設備を備えた中学校はそうありません。この素晴らしい環境の中で、保護者・地域・各分野の関係者の皆様にご協力をいただきながら、生徒達は学習や部活動に取り組んでおります。

本校の学校教育目標「これからの時代を切り拓くたくましい生徒の育成」を達成するために、今年度は「仲間づくりと学び合いで生徒を育てる」を組織目標として掲げ、「チーム南中」として全職員で取り組んでおります。

さらに「人権尊重の精神を教育の柱とし、一人一人のよさが発揮される学校」「学級・学年経営が充実し、生徒の居場所がある学校」「明るく元気なあいさつのある学校」「季節感、清潔感、潤いのある学校」等をより具体的な生徒の姿や学校環境として捉えております。

学校公開日や体育祭、あしのめ祭（文化祭）など、生徒の真剣に学ぶ様子や主体的・創造的に活動する生徒の様子を直接ご覧いただける機会も計画しておりましたが、令和2年度はコロナ感染症未然防止の観点から中止や変更を余儀なくされました。令和3年度は新しい生活様式に対応して行事等の計画をしました。ご来校いただける場面においては皆様の生の声をお聞かせいただけましたら幸いです。

本校の教育活動や生徒の様子や各種たよりについては、ホームページでも紹介・掲載しております。ご覧いただき、引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

#### 【小川北中学校】

本校の教育目標である『あたたかい心で人とかわかり、何事にも全力で取り組む生徒の育成』、そして、目標具現化のためのスローガン「美しい学校」の実現に向けては、生徒の頑張りや教職員の支援により、大変充実した取組ができました。この一年、コロナ禍の中、生徒はさまざまな体験をし、心身共に大きく成長しました。特に、部活動や各種行事を経験して得られた充実感、達成感、及び反省点は、必ずや次への意欲につながるものと確信しています。保護者の皆様や地域の方々のご理解とご支援のおかげもあり、いろいろな場面で生徒の善行が見られ、お褒めの話をいただくことも増えています。一方、少数ながら生徒間のトラブルや問題行動もあります。これについては、全職員で共通理解するとともに方向性を定めて共通行動に努めています。

学力・体力の向上に向けては、全職員で研修を進め、「学び合い」のよさを生かした授業改善と生徒の学ぶ意欲を高める授業の工夫を進めてまいりました。また、教科となった「特別の教科・道徳」の授業についても授業研究会を開催するなどして取り組んでいるところです。生徒は、毎日の部活動や体育の授業へも一生懸命取り組んでおり、体力も着実に高まり、県内でも昨年同様に高いレベルを維持できています。また、課題であった家庭学習についても学習時間・内容共に高まってきていることが生徒の実態調査から分かります。

今後も『あたたかい人間関係』を本校のキーワードとして、学習や部活動、生徒会活動や学校行事等それぞれに主体的に取り組み、常に上のレベルを目指す生徒集団、教職員集団になるよう努めてまいります。

生徒の心身の健全な育成には、保護者の皆様、地域の方々を始め多くの皆様のご支援、ご協力が欠かせません。本校ではさらに開かれた学校を目指し、授業公開や行事等に工夫改善を加え、「地域とともにある学校」になるように、学校だよりや学校ホームページ等を活用し、適切な情報発信に努めます。保護者や地域の皆様には、その豊富な教育力を学校の教育活動の充実に向け、ご協力いただければありがたく存じます。

最後に、本校は、コミュニティ・スクールとして、既存の小川北学区コミュニティ委員会との連携を図り、今後もいっそう地域に根差し、地域と連携した小川北中学校になるよう努めてまいります。令和4年度からの義務教育学校開校に向けてさらなるご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 【美野里中学校】

今年度は、「多くの感動体験や達成する喜びを味わわせ自己肯定感を育む」ことを目標に、様々な制約の中で可能な教育活動を探りながら、「学びを止めない」を合い言葉に教育活動を実施してまいりました。その結果、生徒主体の活動を推進する中で、自主的・自立的な態度が育まれました。

学習面におきましては、基礎・基本の定着と学力の向上を目指し、ティームティーチングやICT機器の積極的な活用等を実施して、生徒一人一人への丁寧な学習支援に力を入れてきました。授業では、「新しい生活様式」に添った学習形態を工夫しながら学び合う活動を取り入れ、意見交換をしたり良い考えを認め合ったりすることができています。今後も全ての生徒が毎時間意欲的に授業に取り組める学校づくりを推進するとともに、ご家庭との連携をさら

に深めながら家庭学習の充実を図り、学習習慣の確立とさらなる学習内容の定着を目指していきます。

部活動においては、本年度も多くの部活動が県大会に出場しました。特に、駅伝においては県駅伝競走大会優勝、関東大会4位とすばらしい成績を残すことができました。

担任・学年主任等による家庭訪問やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携した教育相談の実施、相談室登校生徒への対応など、不登校生徒の状況改善に向け全職員で取り組んでおります。今後も、生徒の気持ちに寄り添った指導を心掛けてまいります。

SNSトラブル防止に向け、生徒会も含め全校で取り組んでおります。好ましい人間関係づくりを考える機会として、県のスクールロイヤー事業を活用した「いじめ未然防止教室」を開催しました。自宅でのスマートホン使用に関する約束づくり等、ご家庭の協力も重要となります。ご協力よろしく願いいたします。

地域や保護者の皆様、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 【玉里中学校】

今年度はコロナ禍の中、年度初めの四月早々に、始業式、入学式の後約2か月に及ぶ臨時休校となりました。その間、学校からはメールをはじめ、ホームページなどを中心に情報を発信し続けてきました。また、分散登校時などには、学校から、また学年等から通知を発信しましたが、学校からの協力の呼びかけに真摯に応えてくださり、感謝しています。いばらきオンラインスタディ等についても周知しましたが、取組に個人差はあるものの、積極的に活用した生徒もたくさんいました。

6月になり学校が再開し、以前のような学校生活が生徒たちに戻ってきました。この頃は、世間がコロナのことをいかに騒ごうとも、季節が夏に向かって蒸し暑くなる中であって、マスクの着用がなかなか定着しない生徒も見られました。そういう状況にあっても根気強く指導を続けたことで生徒の意識も変わり、登校時や体育の授業、そして部活動時以外は、着用率100%にかなり近いところまで変容が見られてきました。

一方で、コロナはたくさんの学校行事を延期や中止に追い込みました。そんな中でも教職員の工夫と、生徒がその事実を受け入れ、また保護者の皆様のご理解とご協力があった、縮小した形ではありますが、学年毎のスポーツレクリエーションや、緋秋祭、そして2・3年生においては近郊での遠足を実施することができました。やはり生徒は、知識の学習だけではなく、体験を通して多くの気づきと学びがあるのだなと実感しているところです。

学習の進捗については、授業をできるときにしっかりと基礎・基本を確実にやるということを積み重ねてきたことで、年間指導計画に遅れることなく、むしろ計画よりも早い進捗でほとんどの教科で授業を進めることができました。そういう意味では、定期テストや実力テストはもとよりですが、自分自身の実力を客観的に確認できるテストの実施は、やはり必要だと実感しているところです。

最後になりますが、今年度末をもちまして、61年間の歴史に幕を閉じ、玉里中学校は閉校します。そして4月から玉里学園義務教育学校に生まれ変わりますが、よい伝統を受け継いで、9学年が一丸となってよりよい学校を作っていきます。今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



### 【元気っ子幼稚園】

本園の教育目標「幼児期の発達にふさわしい環境を構成し、豊かな情操を養うとともに自立の態度を培い、心身の調和のとれた幼児を育成する。」の実現に向かって5つの柱（課題と教育課程・学びの連続性・指導計画の改善・生活習慣の確立・環境の維持）を立て各種教育活動を推進しております。これらの柱は、それぞれ独立して達成する項目ではなく相互に関係・関連を持たせながら実践してこそ、本教育目標にせまるものと確信しております。また、その実現にあたり最も重要なことは、子どもを適切な環境の中で育てていくことであると思っております。

そして、未来を担う存在である子どもを、幼稚園だけで育てるのではなく、保護者の皆様、地域の皆様を含めたあらゆる社会環境の中で育て成長させていきたいと切に願っております。

皆様の声を大切にしながら、職員一同、更に努力してまいりますので、今後も、尚一層、園経営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 【羽鳥幼稚園】

保護者の皆様、日頃より本園の教育活動にご尽力賜り誠にありがとうございます。新しい生活様式を取り入れながら、皆様のご協力のおかげで園児は安心・安全な園生活を送ることができました。新型コロナウイルス感染症対策で例年のように保育の公開ができませんでしたがご理解をいただきありがとうございます。

少しずつ入園園児が減少となり来年度は美野里地区統合幼稚園ができます。よつば幼稚園となり園舎は竹原小学校の2階になります。創立より48年間ありがとうございました。

### 【堅倉幼稚園】

日頃より堅倉幼稚園の教育活動に対するご理解とご協力、ありがとうございます。

令和2年度は新型コロナウイルスの流行により、PTA 活動や園行事等の変更や縮小が相次ぎ、保護者の皆様には大変ご心配をおかけしました。また、本園は令和3年3月をもって52年間の歴史に幕を降ろし、閉園することとなりましたが、閉園・統合準備の際にもご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

来年度からは美野里地区の公立幼稚園が統合し、「よつば幼稚園」としてスタートします。地域の皆様には今後とも小美玉の幼稚園児を温かく見守っていただき、幼稚園の教育活動へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 【納場幼稚園】

日頃より、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては本園の教育活動にご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。

今年度はコロナウイルス感染防止対策のため、園児の日常生活や各種行事等の変更が多々ある中でしたが、おかげさまで園児は、安心、安全で楽しい園生活を送ることができました。

例年実施している納場地区コミュニティふれあいまつり、部室地区貴船神社節分祭などが残念ながら中止となりました。しかし、長年に渡り地域の方々にも成長を見守られ、たくさんの地域ぐるみの教育活動に参加させていただき、地域の一員としての意識を持ち楽しい思い出を作ることができました。

多くの園児を見守り続け、たくさんの思い出を作ってくださいありがとうございました。

多くの園児が過ごした園舎や遊んだ遊具、地域の皆様に親しまれた『納場幼稚園』の歴史は、令和3年3月31日をもって閉園となります。開園より53年間で1506名の園児が卒園していきました。

令和3年4月1日より旧美野里地区の公立幼稚園が統合し新たに『よつば幼稚園』として、竹原小学校内2階でスタートします。

今後も教育の充実・発展に一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

### 【玉里幼稚園】

日頃より、保護者の皆様やご家族の皆様、地域の皆様におかれましては、本園の教育活動にご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本園は今年度、創立50周年を迎えました。現在は、年長児15名、年中児14名、年少児23名の計52名が在籍し、毎日元気に幼稚園生活を送っております。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、玉里地区コミュニティ、誕生会での外部ボランティア活用（と保護者参観）、他幼稚園や小学校との交流会などを実施できませんでした。しかし、他の園や学校が中止・自粛する中、運動会や発表会、夕涼み会、未就園児交流会、専門委員会活動などは「3密対策」をとりながら、予定通り実施することができました。保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝いたします。

学校評価においては、保護者の皆様から概ね高評価をいただいております。本園では、日々の園生活の中で、園児一人一人の発達の姿や個性、課題等を把握して援助・指導に努めています。しかし、援助・指導において至らない点もあり、保護者の皆様にご心配をおかけすることもありました。今後も、園児や保護者の皆様との信頼関係を築きながら、園児に寄り添った保育ができるよう一層努力してまいります。

何かお気づきのことやお悩みの点がありましたら、本園職員にご相談・ご意見・ご要望をいただければ幸いです。

今後も、保護者の皆様と一緒に「子育てのパートナー」として手を取り合って対応していきますので、どうぞご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。